

日本バリュー・ボトムアップ株式投資戦略アクティブETF（585A）

1 商品等の内容（当社は、お客さまに上場有価証券の売買の取次ぎを行っています）

| | |
|-------------------------------------|--|
| 金融商品の名称・種類 | 日本バリュー・ボトムアップ株式投資戦略アクティブETF（585A） |
| 組成会社（運用会社） | JAMPファンド・マネジメント株式会社 |
| 金融商品の目的・機能 | わが国の株式を主要投資対象とし、一貫したバリュー投資哲学と運用プロセスに基づく企業分析をもとに中長期的観点から卓越した投資パフォーマンスをめざすアクティブETF（上場投資信託）です。 |
| 顧客利益最優先の運用会社のガバナンスの確保、プロダクトガバナンスの確保 | <p>【経営・運用体制】運用会社は、商品組成から償還までの全局面でフィデューシャリー・デューティーを果たすべく「プロダクトガバナンスに関する方針」を定めています。商品組成では、代表取締役社長が参画する「投資政策委員会」（月1回開催）で運用方針を決定し、これに基づき運用部がポートフォリオを構築・管理します。運用責任者は1999年より株式・債券・オルタナティブ資産等の運用に携わり、豊富な知識と経験を有しています。※プロダクトガバナンスに関する方針：https://www.jamplatform.com/jfm/product_policy</p> <p>【検証体制】組成後の商品については、組成時に想定した商品性が確保されているかを継続的にモニタリングしています。具体的には、代表取締役社長が参画する「投資政策委員会」で、月1回の運用レビューを実施しています。また、「プロダクトガバナンス委員会」では、運用部による日々の運用リスクモニタリング結果やコンプライアンス部による不適切事象・違反等の有無について報告を受け、継続的に確認しています。</p> |
| 商品組成に携わる事業者が想定する購入層 | <p>本ETFは、以下の事項をすべて理解し、元本割れリスクおよび本ETFの請求目論見書に記載されている投資リスクを許容したうえで、本ETFの運用方針に則した運用で中長期の資産形成を目的とする投資家を主に想定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティブ運用型ETFは、指標連動型のETFとは異なり、連動対象となる指標が存在しない商品です。本ETFは、ベンチマークを上回る収益の確保を図る運用ではなく、中長期の投資信託の成長を目指した運用を行うため、ベンチマークを採用していません。 ・ETFにおける積極運用の結果、基準価額が相場全体の変動からでは説明できない動きをする場合があること ・管理会社等により日々開示されるポートフォリオ情報は、前日の基準価額算出の基礎となった情報でしかなく、当該情報から算出される一口当たり推定純資産額（インディカティブNAV）については、ETFの適正価格に常に一致するというわけではないこと |
| パッケージ化の有無 | パッケージ化商品ではありません。 |
| クーリング・オフの有無 | 金融商品取引法第37条6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。 |

※ 上記内容の詳細は、組成会社が作成する「内国アクティブ運用型ETFの商品特性及び管理会社の運用体制等に関する報告書」が参考となります。



以下のような質問があれば、お問い合わせください。

あなたの会社が提供する方針のうち、この商品が、私の知識、経験、財務状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠はなにか。この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。

この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2 リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

| | |
|---------------------------|---|
| 損失が生じるリスクの内容 | <p>投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。</p> <p>ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。</p> <p>株価変動リスク／集中投資リスク／流動性リスク／信用リスク</p> |
| 【参考】 過去1年間の収益率 市場価格ベース | 表示に必要とする年間収益率データがありません。（2026年6月9日運用開始） |
| 【参考】 過去5年間の収益率 市場価格ベース | 表示に必要とする年間収益率データがありません。（2026年6月9日運用開始） |

※ 投資リスクの内容の詳細は、目論見書のほか、組成会社が作成する「内国アクティブ運用型ETFの商品特性及び管理会社の運用体制等に関する報告書」に記載しています。



以下のような質問があれば、お問い合わせください。

上記リスクについて、私が理解できるように説明してほしい。

相対的にリスクが低い類似商品はあるのか、あればその商品について説明してほしい。

3 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

| | |
|------------------------|--|
| 購入時に支払う費用 （販売手数料など） | 国内株式等の売買に係る委託手数料がかかります。 |
| 継続的に支払う費用 （信託報酬など） | 信託財産の純資産総額に対して年率0.99%（税抜0.90）程度 その他の費用・手数料等がファンドから支払われますが、事前に料率・上限等を表示できません。 （本資料作成時点） |
| 運用成果に応じた費用 （成功報酬など） | ありません。（本資料作成時点） |

※ 購入時に支払う費用は、上場有価証券等書面に記載しています。



以下のような質問があれば、お問い合わせください。

私がこの商品に〇〇万円投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

4 換金・解約の条件（本商品を換金する場合、一定の不利益を被ることがあります）

- この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還等により上場廃止される場合があります。
- この商品を換金する場合には、国内株式等の売買に係る委託手数料がかかります。

※ 本商品を換金する場合、一般的には、金融商品取引業者等を通じて、取引所市場で売却することになります。

※ 売却時に支払う費用は、上場有価証券等書面に記載しています。



以下のような質問があれば、お問い合わせください。

私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5 当社の利益とお客さまの利益が反する可能性

- 当社は、この商品の組成会社等との間に資本関係等の特別の関係はありません。
- 当社の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページをご参照ください。

<https://www.okasan.co.jp/conflict.html>



以下のような質問があれば、お問い合わせください。

あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。



6 租税の概要（NISA成長投資枠、NISAつみたて投資枠、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

- NISA制度の「成長投資枠」対象商品です。
- 料金は表に記載の時期に適用されます。以下の表は、個人投資家の源泉徴収時の税率であり、課税方法によりことなる場合があります。

| 時期 | 項目 | 税金 |
|--------------|----------------------|---|
| 分配時 | 所得税、復興特別所得税 及び地方税 | 普通分配金に対して、20.315%がかかります。 |
| 売却時 及び償還時 | 所得税、復興特別所得税 及び地方税 | 換金（解約）時及び償還時に差益（譲渡益）に対して、20.315%がかかります。 |

7 その他参考情報（契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください）

| | | |
|----------------------------|--|--|
| 販売会社が作成した「上場有 価証券等書面」 | https://www.okasan.co.jp/risk_fee.html#anc04 ※PDF形式で掲載しています。 | |
| 組成会社が作成した本商品に かかるウェブページ | https://www.jamplatform.com/jfm/fund/BG311266 | |

※ 組成会社が作成した「国内アクティブ運用型ETFの商品特性及び管理会社の運用体制等に関する報告書」は東証上場会社情報サービス
<https://www.jpex.co.jp/listing/co-search/index.html>（証券コードで検索）→「基本情報」→「縦覧書類/PR情報」→「その他」欄
で閲覧できます。

※ 各質問事例に関する回答は、別紙にまとめております。こちらよりご確認ください。
https://www.wam.abic.co.jp/ap02rs/contents/pdf/E219528/doc/E219528_qa.pdf

